

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務 I		指導担当者名	宗形 優
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	ペット総合科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動を始める前の準備			
評価方法 評価基準	授業態度、提出物等			
使用教材	動画教材 SUCCESS			
授業外学習の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事			
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等	
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	講師紹介 1-1 これからどう生きるのか(宿題として視聴)	
	2	就職活動の心構え身だしなみ	1-1宿題振り返り 1-2 一生でどのくらい稼げるのか	
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編) 身だしなみ	
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い	
	5	職業を知る	2-2 職種と業種の違いが分かるように *志望動機は飛ばします	
	6	情報収集、企業研究、資料請求 1	2-2(実践編) 業界マップの理解	
	7	情報収集、企業研究、資料請求 2	2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	8	情報収集、企業研究、資料請求 3	2-3(実践編) 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	9	自分自身を知る 自分史の作成 1	3-4から3-6-2 ・3-4自己PRのネタを探す	
	10	自分自身を知る 自分史の作成 2	3-4から3-6-2 ・3-4-1自己PRのネタを探す(経験)	
	11	自分自身を知る 自分史の作成 3	3-4から3-6-2 ・3-4-2自己PRのネタを探す(特性)	
	12	自分自身を知る 自分史の作成 4	3-4から3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る	
	13	自分自身を知る 自分史の作成 5	3-4から3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る(実践編)	
	14	期末試験(一般常識など)	自己PRの確認は必須 時間があれば一般常識など	
	15			
	16			
履修上の留意点				
*適宜一般教養の問題集も使ってテストをしてください。特に各期末試験で必ず入れてください。				
*途中で就職研修が入ります。その時まで履歴書を書けるようにしておきましょう。				
*各学科、各学生の様子を見ながら弾力的に進めてもらって結構です。				

授業計画(シラバス)

科目名		就職実務 I		指導担当者名		宗形 優	
実務経験						実務経験:	
開講時期		通年 前期・後期		対象学科学年		ペット総合科 1年	
授業方法		講義:○		演習:		実習:	
時間数		28時間		週時間数		1時間	
学習到達目標		就職活動を始める前の準備					
評価方法 評価基準		授業態度、提出物等					
使用教材		動画教材 SUCCESS					
授業外学習の方法		学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	志望動機の作り方 1		3-7 業界、会社にあった動機作り			
	2	志望動機の作り方 2		3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り			
	3	作成書類 1		3-8・3-8(実践編)、加えて3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2まで 履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、 また、封筒の書き方、その他の書類 (事務局の書類の手続き)、ポートフォリオなどの話しもしてください。 *履歴書の完成			
	4	作成書類 2					
	5	作成書類 3					
	6	企業訪問		5-1,5-2 準備、当日、事後の指導をしてください			
	7	就職試験のマナー 1		5-2~5-3(実践編) 入退室			
	8	就職試験のマナー 2		5-2~5-3(実践編) 面接試験対策1			
	9	就職試験のマナー 3		5-2~5-3(実践編) 面接試験対策2			
	10	筆記試験対策 1		5-5,5-5(実践編) 筆記試験について、種類や方法を知る			
	11	筆記試験対策 2		特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)			
	12	期末試験(一般常識など)		履歴書、入退室の確認は必須 時間があれば一般常識など			
	13	期末試験振り返り					
	14	年間振り返り					
	15						
	16						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない							
*適宜一般教養の問題集も使ってテストをしてください。特に各期末試験で必ず入れてください。							
*途中で就職研修が入ります。その時まで履歴書を書けるようにしておきましょう。							
*各学科、各学生の様子を見ながら弾力的に進めてもらって結構です。							

授業計画(シラバス)

科目名	飼養管理士概論Ⅰ		指導担当者名	宗形 優
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	56時間		週時間数	2時間
学習到達目標	<科目主旨> ・動物についての理論的かつ科学的に理解を深め、専門的知識を高める。 ・社会のニーズに対応できる実践的応用力を身につける。 ・愛玩動物を扱う者として、必要な法律の知識を習得し、広く普及啓発を行えるようにする。			
評価方法 評価基準	・模擬対策問題 ・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率 ・資格取得 など			
使用教材	愛玩飼養管理士2級 教本上下			
授業外学習 の方法	予習復習 課題報告問題を解く			
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等	
授 業 計 画 前 期	1	第Ⅰ編愛玩動物飼養管理士の社会活動	第1章公益社団法人日本愛玩協会の目的・事業	
	2		第2章愛玩飼養管理士	
	3	第Ⅱ編 動物愛護論Ⅰ	第1章人は動物をどのように見てきたのか	
	4		第2章近代的動物愛護運動の始まり	
	5		第3章現代の動物愛護運動との思想	
	6	第Ⅲ編 人と動物の関係学	第1章互いに影響しあう人と動物	
	7		第2章人を支える動物たち	
	8		第3章動物から子供が学ぶこと	
	9	第Ⅳ編 動物関係法令概説	第1章動物と法律との関係	
	10		第2章動物の愛護及び管理に関する法律	
	11		第3章動物の飼養及び保管に関する基準法	
	12		第4章家庭飼育動物に関わる関係法令	
	13		第5章野生動物にかかわる関係法令	
	14	期末テスト	期末テスト	
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	飼養管理士概論Ⅰ		指導担当者名	宗形 優	
実務経験				実務経験:	
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	<科目主旨> ・動物についての理論的かつ科学的に理解を深め、専門的知識を高める。 ・社会のニーズに対応できる実践的応用力を身につける。 ・愛玩動物を扱う者として、必要な法律の知識を習得し、広く普及啓発を行えるようにする。				
評価方法 評価基準	・模擬対策問題 ・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率・資格取得 など				
使用教材	愛玩飼養管理士2級 教本上下				
授業外学習 の方法	予習復習 課題報告問題を解く				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	第Ⅴ編動物のからだの仕組みと働き	第1章体の基本の仕組み		
	2		第2章栄養を取り入れる		
	3		第3章酸素を取り入れる		
	4		第4章老廃物の排出、異物の撃退と解毒		
	5		第5章情報を取り入れる		
	6		第6章体内の情報伝達		
	7		第7章子どもを産み育てる		
	8	第Ⅵ編動物の飼養管理	第1章動物の飼養管理(総論)		
	9		第2章犬の飼養管理 第3章猫の飼養管理		
	10		第4章その他の哺乳類の飼養管理 第5章鳥類の飼養管理		
	11	第Ⅶ編動物のしつけ	第1章学習理論 第2章犬と猫の社会化		
	12		第3章犬のしつけの基本		
	13		第4章室内飼育猫の死受け基本		
	14				
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	造形美術演習		指導担当者名	平田芳子
実務経験	各企業にて10年以上トリマーとして従事			実務経験：有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科科 1年
授業方法	講義：	演習：	実習：○	実技：
時間数	56時間		週時間数	2時間
学習到達目標	<科目主旨> ドッグマネキンのカッティングを通し、スリッカー、コーム、シザーの扱い方の練習をする。 立体のスタイルを作り上げる際に必要な観察力、形体を構成する力を学ぶ。 <到達目標> ドッグマネキンのカットをすることにより。実際のトリミングのイメージをつかむ。			
評価方法 評価基準	作品完成度 ・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率 など			
使用教材	日本ペット技能専門学校協会 ペット美容学 インターズー プロフェッショナルワークブック			
授業外学習の方法	ハサミの練習 ドッグマネキンカットイメージ			
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等	
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション ラムクリップの絵を描く 全体	授業説明、使用教材についての理解 ブードル絵プリント配布	
	2	ラムクリップについて学ぶ、シザーについて学ぶ	新聞紙を使用したシザー練習	
	3	スリッカー、コーム、シザーの動かし方について学ぶ	モップをつかったスリッカー コームの使い方	
	4	前回の復習(シザーの動かし方練習)	面と角のとらえ方 フットライン・尾周辺のカット	
	5	前回の復習(シザーの動かし方練習)	荒ざり練習	
	6	前回の復習(シザーの動かし方練習)	お尻からアンギュレーション～飛節～飛節下カット	
	7	前回の復習(シザーの動かし方練習)	後肢内側・後肢外側・後肢角を取る	
	8	前回の復習(シザーの動かし方練習)	尻サイドをカット・後肢前側とタックアップの位置	
	9	前回の復習(シザーの動かし方練習)	ボディカット・アンダーカット	
	10	前回の復習(シザーの動かし方練習)	ボディカット・前肢サイドと内側カット	
	11	前回の復習(シザーの動かし方練習)	フロント～前駆サイド～ボディサイド～背線	
	12	前回の復習(シザーの動かし方練習)	フロントクリップパーラインカット	
	13	前回の復習(シザーの動かし方練習)	ドッグマネキン2時間カット練習	
	14	合評	ドッグマネキン2時間カット手直し	
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	造形美術演習		指導担当者名	平田芳子	
実務経験	各企業にて10年以上トリマーとして従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	＜科目主旨＞ ドッグマネキンのカットtingを通し、スリッカー、コーム、シザーの扱い方の練習をする。 立体のスタイルを作り上げる際に必要な観察力、形体を構成する力を学ぶ。 ＜到達目標＞ ドッグマネキンのカットをすることにより。実際のトリミングのイメージをつかむ。				
評価方法 評価基準	作品完成度 ・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率 など				
使用教材	日本ペット技能専門学校協会 ペット美容学 インターズー プロフェッショナルワークブック				
授業外学習 の方法	ハサミの練習 ドッグマネキンカットイメージ				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	ラムクリップの絵を描く 全体のバランス	仕上げ		
	2	ラムクリップについて学ぶ、シザーについて学ぶ	フットライン・尾周辺のカット		
	3	スリッカー、コーム、シザーの動かし方について学ぶ	お尻からアンギュレーション～飛節～飛節下カット		
	4	前回の復習(シザーの動かし方練習)	ボディカット・アンダーカット		
	5	前回の復習(シザーの動かし方練習)	ボディカット・前肢サイドと内側カット		
	6	前回の復習(シザーの動かし方練習)	前肢後側カット		
	7	前回の復習(シザーの動かし方練習)	前肢前側カット		
	8	前回の復習(シザーの動かし方練習)	フロントクリップパーラインカット		
	9	前回の復習(シザーの動かし方練習)	フロント～前駆サイド～ボディサイド～背線		
	10	前回の復習(シザーの動かし方練習)	2時間カット		
	11	前回の復習(シザーの動かし方練習)	2時間カット 仕上げ 添削		
	12	前回の復習(シザーの動かし方練習)	3時間カット 仕上げ 添削		
	13	前回の復習(シザーの動かし方練習)	4時間カット 仕上げ 添削		
	14	合評	後期の反省と年間総評		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	PC実習		指導担当者名	菅井 雄作	
実務経験	office使用業務に10年間以上従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	エクセルやワード、パワーポイントを習得し自ら作成、編集ができるようにする。				
評価方法 評価基準	授業態度および期末テストにて評価				
使用教材	Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2016 対策テキスト& 問題集				
授業外学習 の方法					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	カレトモのメールアドレス配布		
	2	Officeダウンロード			
	3	Excelの使い方	画面の説明とショートカットキー		
	4	Excelの使い方	SUM関数 P177		
	5	Excelの使い方	counta関数 P183		
	6	Excelの使い方	if関数 P185		
	7	Excelの使い方	置換とセルの書式設定 P113		
	8	Excelの使い方	パーセンテージ P123		
	9	Excelの使い方	見栄え		
	10	Wordの使い方	縦横		
	11	Wordの使い方	見栄え		
	12	Wordの使い方	文章を書いてみる		
	13	Wordの使い方	文章を書いてみる2		
	14	後期期末	テスト		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	PC実習		指導担当者名	菅井 雄作
実務経験	office使用業務に10年間以上従事			実務経験： 有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ベトナム総合科1年
授業方法	講義：	演習：	実習：○	実技：
時間数	56時間		週時間数	2時間
学習到達目標	エクセルやワード、パワーポイントを習得し自ら作成、編集ができるようにする。			
評価方法 評価基準	授業態度および期末テストにて評価			
使用教材	Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2016 対策テキスト& 問題集			
授業外学習 の方法				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等	
授 業 計 画 後 期	1	オリエンテーション	前期の振り返り	
	2	wordの使い方	表を入れる	
	3	wordの使い方	ワードアート	
	4	wordの使い方	画像の挿入	
	5	wordの使い方	お礼文を書いてみる	
	6	PowerPointの使い方	チラシをつくってみる	
	7	PowerPointの使い方	プレゼン用のシートを作ってみる	
	8	PowerPointの使い方	プレゼン用のシートを作ってみる2	
	9	PowerPointの使い方	プレゼン用のシートを使って発表してみる	
	10	PowerPointの使い方	プレゼン用のシートを使って発表してみる2	
	11	PowerPointの使い方	プレゼン用のシートを使って発表してみる3	
	12	PowerPointの使い方	期末テスト用シート	
	13	PowerPointの使い方	期末テスト用シート	
	14	後期期末試験		
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	犬学		指導担当者名	宗形 優	
実務経験				実務経験:	
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	28時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	<科目主旨> ・動物の取り扱いや日常的な管理を行う為の基礎知識の習熟を目指す。 <到達目標> ・動物看護にて知識を得て、動物達へストレスがかからないように適切なケアができること。 ・小動物看護師の資格を受ける事ができる				
評価方法 評価基準	・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率など				
使用教材	めざせ早期発見！わかる犬の病気				
授業外学習 の方法	病気について予習復習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる	1	全身チェック	
	2	第1トリミング前に確認したい全身チェックとうつる	2	人や動物にうつる恐れのある病気	
	3	第2章早期発見するための部位別病気の知識	1	皮膚の病気	
	4	第2章早期発見するための部位別病気の知識	2	耳の病気	
	5	第2章早期発見するための部位別病気の知識	3	目の病気	
	6	第2章早期発見するための部位別病気の知識	4	鼻と口の病気	
	7	第2章早期発見するための部位別病気の知識	5	おしり・お腹周りの病気	
	8	第2章早期発見するための部位別病気の知識	6	足先・膝・腰まわりの病気	
	9	第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知	1	シャンプーの基礎知識	
	10	第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知	2	トリミングサロン・ペットショップ内の正しい清掃・消毒方法	
	11	第3章トリマーペットショップスタッフ必須の基礎知	3	ワクチンの基礎知識	
	12	前期期末試験対策		復習	
	13	前期期末試験対策		復習	
	14	前期期末試験		前期期末試験	
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	犬学		指導担当者名	宗形 優
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	28時間		週時間数	1時間
学習到達目標	<科目主旨> ・動物の取り扱いや日常的な管理を行う為の基礎知識の習熟を目指す。 <到達目標> ・動物看護にて知識を得て、動物達へストレスがかからないように適切なケアができること。 ・小動物看護師の資格を受ける事ができる			
評価方法 評価基準	・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率など			
使用教材	めざせ早期発見！わかる犬の病気			
授業外学習の方法	病気について予習復習			
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等	
授 業 計 画 後 期	1	第4章飼い主さんへの病気説明	アレルギー、外耳炎、角膜炎	
	2		肛門嚢炎、股関節形成不全、子宮蓄膿症、	
	3		歯周病、糖尿病、	
	4		白内障、緑内障、	
	5		結膜炎	
	6		マダニ、ノミについて	
	7	第5章トリミングトラブル	1 爪切りで出血させてしまった	
	8		2 目がしょぼしょぼする	
	9		3 フケが多くなった	
	10		4 嘔吐、下痢	
	11		5 血尿がでてしまった	
	12		6 片足立ちになっている、足腰が立たない	
	13		7 足先をなめている 8 いぼや皮膚を切ってしまった	
	14	後期期末テスト	後期期末テスト	
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	ペット美容概論		指導担当者名	平田芳子	
実務経験	各企業にて10年以上トリマーとして従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	56時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	<科目主旨> スタンダードの理解と、各犬体各種のカット、クリッピングの手順、形、ラインなどを学ぶ。 実社会で使用する最低限度の用語等を習得する。モデル犬受付業務の流れ。 <到達目標> カットスタイル習得。一人で2～3時間以内で仕上げまでトリミング実習での実践できるようにする。モデル犬受付業務の習得。バリカン使用の習得。				
評価方法 評価基準	・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率 など				
使用教材	日本ペット技能専門学校協会 ペット美容学 インターズー プロフェッショナルワークブック				
授業外学習 の方法	ペット美容学教科書の予習復習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	自己紹介		
	2	犬体用語・毛色用語・被毛用語・ペット美容用語	犬体各部の名所		
	3	GM道具の手入れについて	道具の取り扱い		
	4	ペット美容用語	用語解説		
	5	トリミング用具・ハサミ	ハサミの手入れについて		
	6	ハサミの基本技法	ハサミの持ち方		
	7	ブラシ、コーム、クリッパー	取り扱い		
	8	爪切り、ドライヤー、テーブル	使い方		
	9	リボンの作り方	実践で使える手作りリボンの解説		
	10	爪の手入れ	犬の爪切り		
	11	パッド、目、歯の手入れ	パッドの手入れ、目の手入れ、歯の手入れ		
	12	耳の手入れ 肛門の手入れ	耳の手入れ 耳の中の毛を抜く 耳の汚れをふき取る 肛門囊の絞り方		
	13	シャンプー ドライング	シャンプーの必要性 シャンプーの目的 シャンプーの前処理 シャンプーの後のケア		
	14	まとめ	期末試験		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ペット美容概論		指導担当者名	平田芳子	
実務経験	各企業にて10年以上トリマーとして従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	28時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	<科目主旨> スタンダードの理解と、各犬体各種のカット、クリッピングの手順、形、ラインなどを学ぶ。 実社会で使用する最低限度の用語等を習得する。モデル犬受付業務の流れ。 <到達目標> カットスタイル習得。一人で2～3時間以内で仕上げまでトリミング実習での実践できるようにする。モデル犬受付業務の習得。バリカン使用の習得。				
評価方法 評価基準	・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率 など				
使用教材	日本ペット技能専門学校協会 ペット美容学 インターズー プロフェッショナルワークブック				
授業外学習 の方法	ペット美容学教科書の予習復習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	リンシング	リンシングの目的 リンス剤の種類		
	2	作業困難な犬柄の対処	安全な保定のしかた		
	3	マルチーズのグルーミング	シザー仕上げ クリッパー仕上げの方法		
	4	ヨークシャテリアのグルーミング	ペットトリムとショークリップの違い		
	5	シーズーのグルーミング	ペットトリムとショークリップの違い		
	6	ポメラニアン of グルーミング	ショークリップ 柴カット について		
	7	アメリカンコッカースパニエルのペットトリム	クリッパーの使い方		
	8	アメリカンコッカースパニエルのショートトリム	クリッパーとスキバサミの取り扱い		
	9	プードルのペットクリップ	ラムクリップ スイートハート ダッチ ハリウッド マイアミ		
	10	プードルのショークリップ	パピークリップ コンチネンタル イングリッシュサドルクリップ		
	11	プードル各部の仕上げ	ボンポンの作り方、スウェル、プレスレッド、ローゼット、レッグバリエーション		
	12	プードルの理想体型	ドワーフタイプとハイオンタイプの違い		
	13	トイプードル(ラムクリップ)	作業工程と注意点		
	14	まとめ	期末試験		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	POP・イラスト実習		指導担当者名	宗形 優	
実務経験				実務経験:	
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	28時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	・ショップ運営時に使用する様々な広告を描けるようになることを目的とする。 ・デザイン文字、各種ペットのイラストなど、可愛くアピールできるように描く。 ・アピールできる色とデザインを学ぶ				
評価方法 評価基準	・授業態度 ・授業出席日数 ・各種制作物による評価 ・その他				
使用教材					
授業外学習 の方法	ペットショップなどのPOPイラストを観察				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	講師紹介、自己紹介、授業目的の案内		
	2	デザイン文字①	書体の紹介(明朝体、ゴシック体各丸と角)とトレース		
	3	デザイン文字②	角ゴシック体と丸ゴシック体の描画①		
	4	デザイン文字③	角ゴシック体と丸ゴシック体の描画②		
	5	デザイン文字④	明朝体の描画①		
	6	デザイン文字⑤	明朝体の描画②		
	7	漢字のデザイン文字①	漢字での各種書体での描画①		
	8	漢字のデザイン文字②	漢字での各種書体での描画②		
	9	動物の描画①	犬の描き方①		
	10	動物の描画②	犬の描き方②		
	11	動物の描画③	猫の描き方①		
	12	動物の描画④	猫の描き方②		
	13	前期最終課題制作	モノクロでの犬と猫を表現する		
	14				
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	POP・イラスト実習		指導担当者名	宗形 優	
実務経験				実務経験:	
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	28時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	・ショップ運営時に使用する様々な広告を描けるようになることを目的とする。 ・デザイン文字、各種ペットのイラストなど、可愛くアピールできるように描く。 ・アピールできる色とデザインを学ぶ				
評価方法 評価基準	・模擬対策問題 ・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率・資格取得 など				
使用教材					
授業外学習 の方法	ペットショップなどのPOPイラストを観察				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	色彩①	目立つ色の組み合わせ		
	2	色彩②	目立つ色の組み合わせ 実践		
	3	色彩③	雰囲気に合った色の選び方		
	4	色彩④	色鉛筆を使つてのイラスト描画①		
	5	色鉛筆①	色鉛筆を使つてのイラスト描画②		
	6	色鉛筆②	色鉛筆を使つてのPOP制作①		
	7	色鉛筆③	カラーマーカーを使つてのイラスト描画①		
	8	色鉛筆④	カラーマーカーを使つてのイラスト描画②		
	9	カラーマーカー①	犬のPOP制作①		
	10	カラーマーカー②	犬のPOP制作②		
	11	カラーマーカー③	猫のPOP制作①		
	12	カラーマーカー④	猫のPOP 制作②		
	13	POP制作実践①	その他の動物のPOP制作		
	14	POP制作実践②	カラーで目立つPOPを制作する		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	コミュニケーション概論		指導担当者名	宗形優	
実務経験				実務経験:	
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	28時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	サーティファイ コミュニケーション検定初級の取得、ロールプレイングを通してコミュニケーション力の向上を目指す。				
評価方法 評価基準	筆記試験、出席率、課題提出による評価を行う 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する				
使用教材	コミュニケーション検定初級 テキスト				
授業外学習の方法	テキストを使用し、過去問題を回答する				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業の目的、使用教材についての理解、授業の進行について説明		
	2	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	1－1コミュニケーションを考える		
	3	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	2－1目的に即して働く		
	4	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	2－2傾聴・質問する		
	5	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	3－1目的を意識する		
	6	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	3－1目的を意識する		
	7	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	3－2話を組み立てる		
	8	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	3－2話を組み立てる		
	9	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	3－3言葉を選び抜く		
	10	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	3－3言葉を選び抜く		
	11	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	3－4表現伝達する		
	12	前期期末試験	コミュニケーション概論 期末試験		
	13	パート1 コミュニケーションセオリー（理論）	まとめ・復習		
	14	期末試験	1－1来客応対		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	コミュニケーション概論		指導担当者名	宗形優
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	28時間		週時間数	1時間
学習到達目標	サーティファイ コミュニケーション検定初級の取得、ロールプレイングを通してコミュニケーション力の向上を目指す。			
評価方法 評価基準	筆記試験、出席率、課題提出による評価を行う 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	コミュニケーション検定初級 テキスト			
授業外学習の方法	テキストを使用し、過去問題を回答する			
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等	
授 業 計 画 後 期	1	期末試験振り返り	1－2電話応対	
	2	コミュニケーションプラクティス(実践)	1－3アポイントメント・訪問・挨拶	
	3	コミュニケーションプラクティス(実践)	1－4情報共有の重要性	
	4	コミュニケーションプラクティス(実践)	1－4情報共有の重要性	
	5	コミュニケーションプラクティス(実践)	1－5チームコミュニケーション	
	6	コミュニケーションプラクティス(実践)	2－1接客営業	
	7	コミュニケーションプラクティス(実践)	2－2クレーム対応	
	8	コミュニケーションプラクティス(実践)	2－3会議・取材・ヒアリング	
	9	コミュニケーションプラクティス(実践)	2－4面接	
	10	コミュニケーションプラクティス(実践)	2－4面接	
	11	検定対策	本番の検定に向けて振り返り	
	12	検定対策	本番の検定に向けて振り返り	
	13	期末試験	本番の検定に向けて振り返り	
	14	期末試験振り返り	検定実施	
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	トリミング実習Ⅰ		指導担当者名	平田芳子
実務経験	各企業にて10年以上トリマーとして従事			実務経験：有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	ペット総合科1年生	
授業方法	講義：	演習：	実習：○	実技：
時間数	168時間	週時間数	6時間	
学習到達目標	<科目主旨> モデル犬のトリミングを通し、トリミング技術の向上と動物と接する際の心構え等を習得を図る。グループ行動を通しコミュニケーション能力の向上を図る。 <到達目標> 一通りのトリミング作業を一人で出来るようになる。			
評価方法 評価基準	・授業態度 ・出席率 ・犬の取り扱いなど			
使用教材	トリミング道具一式			
授業外学習の方法	犬種にあったトリミング方法を予習復習			
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等	
授 業 計 画 前 期	1	復習 モデル犬実習	作業の流れ、道具の使い方、コミュニケーションを重点指導	
	2	モデル犬実習	爪切り 下処理確認	
	3	モデル犬実習	耳掃除 シャンプー ブロー	
	4	モデル犬実習	ブードルのモデル犬カット	
	5	モデル犬実習	チワワのモデル犬カット	
	6	モデル犬実習	シーズーのモデル犬カット	
	7	モデル犬実習	ヨークシャテリアのモデル犬カット	
	8	モデル犬実習	ポメラニアンモデル犬カット	
	9	モデル犬実習	ビションフリーゼモデル犬カット	
	10	モデル犬実習	ダックスフントのモデル犬カット	
	11	モデル犬実習	ブードル、ビーグル、MIX犬のモデル犬カット	
	12	モデル犬実習	シュナウザーのモデル犬カット	
	13	モデル犬実習	MIX犬のモデル犬カット	
	14	モデル犬実習 前期反省	ゴールデンレトリバーのモデル犬カット	
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	トリミング実習 I		指導担当者名	平田芳子	
実務経験	各企業にて10年以上トリマーとして従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科1年生	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	168時間		週時間数	6時間	
学習到達目標	＜科目主旨＞ モデル犬のトリミングを通し、トリミング技術の向上と動物と接する際の心構え等を習得を図る。グループ行動を通しコミュニケーション能力の向上を図る。				
評価方法 評価基準	・授業態度 ・出席率 ・犬の取り扱いなど				
使用教材	トリミング道具一式				
授業外学習の方法	犬種にあったトリミング方法を予習復習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	モデル犬実習	ブードル、シーズーのモデル犬カット		
	2	モデル犬実習	ブードル、シーズー、ポメラニアンモデル犬カット		
	3	モデル犬実習	ブードル、ヨークシャテリア、ダックスフントのモデル犬カット		
	4	モデル犬実習	ブードル、チワワ、マルプーのモデル犬カット		
	5	モデル犬実習	ブードル、柴犬、ゴールデンレトリバーのモデル犬カット		
	6	モデル犬実習	ブードル、パピヨン、ヨークシャテリアのモデル犬カット		
	7	モデル犬実習	ブードル、ポメラニアン、チワワのモデル犬カット		
	8	モデル犬実習	ブードル、シュナウザー、ペキニーズのモデル犬カット		
	9	モデル犬実習	ブードル、ビションフリーゼ、ヨークシャテリアのモデル犬カット		
	10	モデル犬実習	ブードル、ビーグル、MIX犬のモデル犬カット		
	11	モデル犬実習	ブードル、イングリッシュセッター、シェットランドシープドッグのモデル犬カット		
	12	モデル犬実習	ブードル、柴犬、ジャックラッセルのモデル犬カット		
	13	モデル犬実習	ブードル、ラフコリー、ポメプーのモデル犬カット		
	14	モデル犬実習 反省	ブードル、ラフコリー、ポメプーのモデル犬カット		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	トレーニング実習Ⅰ		指導担当者名	渡辺 亮	
実務経験	訓練士としてしつけ教室、災害救助犬・警察犬の育成などの業務に10年以上従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	168時間		週時間数	6時間	
学習到達目標	<科目主旨> 動物についての基本的なしつけや訓練の知識を総合的に養う <到達目標> 家庭犬トレーニングインストラクターの資格を受ける事が出来る 飼い主さんへの総合的なアドバイスができる				
評価方法 評価基準	実習犬完成度 ・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率 など				
使用教材	日本ペット技能専門学校協会 トレーニング教科書				
授業外学習 の方法	教科書での予習復習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	自己紹介		
	2	トレーニングの必要性	しつけ 訓練について		
	3	犬の習性を理解する	犬の精神的本質の構成		
	4	トレーニングの方針	犬種による性格の格差を知る 日常生活の中でトレーニング		
	5	子犬の社会化期	仲間との接し方を学ぶ、人との接し方を学ぶ		
	6	犬の問題行動	支配性の徴候 支配性の阻止 アルファシンドローム 分離不安 無駄吠え		
	7	リーダーとして認めさせる	飼い主と犬、トレーナーと犬との主従関係		
	8	アイコンタクト	アイコンタクトを教える		
	9	モチベーター	モチベーターで誘導する		
	10	飼育犬の空間認識	家庭で飼育される犬の空間認識		
	11	ほめる事と叱る事	オペラント式訓練技法		
	12	社会性を養う	他の犬に慣れさせる		
	13	トイレのしつけ	サークル内をトイレとする方法		
	14	食事のしつけ	「すわれ」「まて」「よし」		
	15	ハウスのしつけ	ハウスを理解させる		
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	トレーニング実習Ⅰ		指導担当者名		渡辺亮	
実務経験	訓練士としてしつけ教室、災害救助犬・警察犬の育成などの業務に10年以上従事				実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年		ペット総合科 1年	
授業方法	講義:		演習:		実習:○ 実技:	
時間数	168時間		週時間数		6時間	
学習到達目標	<科目主旨> 動物についての基本的なしつけや訓練の知識を総合的に養う <到達目標> 家庭犬トレーニングインストラクターの資格を受ける事が出来る 飼い主さんへの総合的なアドバイスができる					
評価方法 評価基準	実習犬完成度 ・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率 など					
使用教材	日本ペット技能専門学校協会 トレーニング教科書					
授業外学習の方法	教科書での予習復習					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	音符、視符		「おいで」「こい」		
	2	トレーニングの開始と終了		トレーニング終了の始まりと終わりを犬に伝える		
	3	集中力を再生する		犬の集中力を再生する		
	4	「スワレ」		座ること 子犬を遊ばせながら教える 食事を利用して教える 強制を伴うスワレ		
	5	伏せからスワレ		「フセ」の姿勢から「スワレ」		
	6	行進中のスワレ		脚測行進中のスワレ		
	7	後方から脚側停座		基本動作について		
	8	左側から脚側停座		基本動作について		
	9	「フセ」		「フセ」の視符		
	10	脚測行進		タッチの視符		
	11	脚測行進		スワレからのタッチ		
	12	脚測行進		タツテの視符		
	13	脚測行進		スワレからのタツテ		
	14	講評		まとめ		
	15					
	16					
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない						

授業計画(シラバス)

科目名	ドッグスタイリスト実習Ⅰ		指導担当者名	手塚順子	
実務経験	縫製会社社長として20年以上の裁縫、企画立案業務に従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	ペットの飼い主に対しての販売ツールを増やし、デザイン・制作に関する全般を学ぶ				
評価方法 評価基準	授業態度、提出物等、リボン・衣類等など制作				
使用教材	ミシン 裁縫道具 など				
授業外学習の方法	ペット用品のグッズなどのトレンドを参考にする				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	自己紹介		
	2	制作実習	裁縫の基礎のおさらい		
	3	リボン作成	素材選び 手順説明		
	4	リボン作成	制作		
	5	ネックレス作成	素材選び 手順説明		
	6	ネックレス作成	制作		
	7	制作物計画	手順説明、計画、実施内容の説明		
	8	制作物計画	モデル犬の採寸		
	9	縫製	型紙制作		
	10	縫製	ミシン使用方法説明		
	11	縫製 仕上げ	サンプル制作		
	12	縫製 仕上げ	仮縫い		
	13	縫製 仕上げ	縫製 仕上げ		
	14	まとめ	成果物発表		
	15				
	16				
履修上の留意点 実際使用出来る物を制作・型紙の制作から最終は洋服の制作が出来るようにする					

授業計画(シラバス)

科目名	ドッグスタイリスト実習Ⅰ		指導担当者名	手塚順子	
実務経験	縫製会社社長として20年以上の裁縫、企画立案業務に従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	ペットの飼い主に対しての販売ツールを増やし、デザイン・制作に関する全般を学ぶ				
評価方法 評価基準	授業態度、提出物等、リボン・衣類等など制作				
使用教材	ミシン 裁縫道具 など				
授業外学習 の方法	ペット用のグッズなどのトレンドを参考にする				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	オリエンテーション	自己紹介		
	2	制作実習	裁縫の基礎のおさらい		
	3	リボン作成	素材選び 手順説明		
	4	リボン作成	制作		
	5	ネックレス作成	素材選び 手順説明		
	6	ネックレス作成	制作		
	7	制作物計画	手順説明、計画、実施内容の説明		
	8	制作物計画	モデル犬の採寸		
	9	縫製	型紙制作		
	10	縫製	ミシン使用方法説明		
	11	縫製 仕上げ	サンプル制作		
	12	縫製 仕上げ	仮縫い		
	13	縫製 仕上げ	縫製 仕上げ		
	14	まとめ	成果物発表		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	修了制作		指導担当者名	宗形 優
実務経験				実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	ペット総合科1年生	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	180時間	週時間数	6週/180時間	
学習到達目標	・学科で学んだ内容を活かした作品制作 ・テーマを掲げ対象者を意識した作品制作 ・自らの作品をアピールするプレゼンテーションが出来る			
評価方法 評価基準	・修了生:それぞれの学科の規定により定められた以上の分量、質で1年間の集大成となる作品制作をすること また、学科内で行われるプレゼンテーションにて完成品を発表し、卒業修了制作展で作品展示をすること 評価項目「作品の量」「作品の質」「完成度の高さ」「企画の質」「プレゼン能力」			
使用教材	それぞれの学科制作毎の規定に沿った画材、教材を使用する事			
授業外学習の方法	制作にあたり、事前の企画・計画をそれぞれ複数の先生方と行い、チェックをもらう事			
学期	ターム (週)	項 目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	作品制作開始	事前に準備していた企画・計画に沿ってそれぞれ制作にあたる	
	2	作品制作2	個別添削を行いながら制作を進めていく	
	3	作品制作3	中間発表を行い、プレゼンテーション準備と展示企画についても	
			可視化していく	
	4	学科内プレゼンテーション	学科内でプレゼンテーションを実施	
			学科担任、学科非常勤講師、学科内学生全てでプレゼンテーションを聞く	
			・制作のポイント ・展示計画 ・プレゼン能力 ・資料の見やすさ など	
	5	発表を受けての修正と展示準備	各教室での展示計画と準備、	
			また、プレゼンテーションで受けた指摘の修正と追加制作	
	6	卒業・修了制作展	展示計画の基づき展示をし、外部の一般来場者を入れての作品発表を実施	
			・学科内の作品の見どころの紹介 ・一般来場者の対応	
			*学科内シフトにより登校	
			展示終了後は撤収と作品保管をする	
履修上の留意点				
・出席率が80%に満たない場合は、発表機会を与えない ・プレゼンテーションにて不合格だった場合、修正し、翌週期限を設け再プレゼンを実施 そこで一定の評価があれば合格とする ・再プレゼンで不合格の場合認定となる				

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務Ⅱ		指導担当者名	宗形優
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	28時間		週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動指導 * 学生の進路にあわせて柔軟に指導してください。 (プロ希望、業界志望、その他企業志望)			
評価方法 評価基準	授業態度、提出物等			
使用教材	動画教材 テキスト(SUCCESS)			
授業外学習の方法	就職に向けた活動をし、その報告を随時行う事			
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	1年次の確認	履歴書、入退室の確認	
	2	受験後の報告	動画なし 受験後の報告と内定後の生活、不合格した場合の振り返り	
	3	就職試験のマナー	5-1~5-2まで 面接、試験時の確認	
	4	巻末資料確認	以前のテキストサクセス参照 P39~45 P94~ 各種ビジネス文章の書き方やメール、インターネットを使用したときの注意	
	5	履歴書確認 1	3-8 全体の書き方の見直し	
	6	履歴書確認 2	3-4~3-6-2 自己PRの見直し	
	7	履歴書確認 3	3-7~3-8 志望動機の見直し	
	8	履歴書確認 4	3-1~3-3,3-6~3-6-2 履歴書にふさわしい文章の書き方の見直し	
	9	面接対策 1	4-1~4-5 面接での振る舞いについて	
	10	面接対策 2	4-1~4-5 面接で緊張をした時の対策,緊張しないための対策	
	11	面接対策 3	4-1~4-5 面接での話し方について	
	12	個別指導	履歴書完成	
	13	予備	確認機関	
	14	期末試験	履歴書作成	
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務Ⅱ		指導担当者名	宗形優
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	28時間		週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動指導 * 学生の進路にあわせて柔軟に指導してください。 (プロ希望、業界志望、その他企業志望)			
評価方法 評価基準	授業態度、提出物等			
使用教材	動画教材 テキスト(SUCCESS)			
授業外学習の方法	就職に向けた活動をし、その報告を随時行う事			
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	受験後の報告	動画なし 受験後の報告と内定後の生活、不合格した場合の振り返り	
	2	就職試験のマナー	5-2~5-2(実践編) 面接、試験時の確認	
	3	巻末資料確認	以前のテキストサクセス参照 P39~45 P94~ 各種ビジネス文章の書き方やメール、インターネットを使用したときの注意	
	4	履歴書確認 1	全体の書き方の見直し	
	5	履歴書確認 2	自己PRの見直し	
	6	履歴書確認 3	志望動機の見直し	
	7	個別指導	動画なし 個々に合わせて動画使用してください。	
	8	筆記試験対策 1	3-1~3-3,3-6~3-6-2,5-3~5-5 各種適性検査、一般常識、作文	
	9	筆記試験対策 2	3-1~3-3,3-6~3-6-2,5-3~5-5 各種適性検査、一般常識、作文	
	10	筆記試験対策 3	3-1~3-3,3-6~3-6-2,5-3~5-5 各種適性検査、一般常識、作文	
	11	個別指導	動画なし 個々に合わせて動画使用してください。	
	12	定着指導 1	別途プリント配布 卒業後の早期離職をしないように指導をする	
	13	定着指導 2	別途プリント配布 卒業後の早期離職をしないように指導をする	
	14	期末試験	作文課題 800時 卒業後の抱負など	
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	トリミング実習Ⅱ		指導担当者名	平田芳子
実務経験	各企業にて10年以上トリマーとして従事			実務経験：有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科2年生
授業方法	講義：	演習：	実習：○	実技：
時間数	168時間		週時間数	6時間
学習到達目標	<科目主旨> モデル犬のトリミングを通し、トリミング技術の向上と動物と接する際の心構え等を習得を図る。グループ行動を通しコミュニケーション能力の向上を図る。 <到達目標> 一通りのトリミング作業を一人で出来るようになる。			
評価方法 評価基準	・授業態度 ・出席率 ・犬の取り扱いなど			
使用教材	トリミング道具一式			
授業外学習の方法	トリミング作業の予習復習			
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等	
授 業 計 画 前 期	1	復習 モデル犬実習	作業の流れ、道具の使い方、コミュニケーションを重点指導	
	2	モデル犬実習	ブードル、シーズーのモデル犬カット	
	3	モデル犬実習	ブードル、シーズー、ポメラニアンモデル犬カット	
	4	モデル犬実習	ブードル、ヨークシャテリア、ダックスフントのモデル犬カット	
	5	モデル犬実習	ブードル、チワワ、マルプーのモデル犬カット	
	6	モデル犬実習	ブードル、柴犬、ゴールデンレトリバーのモデル犬カット	
	7	モデル犬実習	ブードル、パピヨン、ヨークシャテリアのモデル犬カット	
	8	モデル犬実習	ブードル、ポメラニアン、チワワのモデル犬カット	
	9	モデル犬実習	ブードル、シュナウザー、ペキニーズのモデル犬カット	
	10	モデル犬実習	ブードル、ビションフリーゼ、ヨークシャテリアのモデル犬カット	
	11	モデル犬実習	ブードル、ビーグル、MIX犬のモデル犬カット	
	12	モデル犬実習	ブードル、イングリッシュセッター、シェットランドシープドッグのモデル犬カット	
	13	モデル犬実習	ブードル、柴犬、ジャックラッセルのモデル犬カット	
	14	モデル犬実習 前期反省	ブードル、ラフコリー、ポメプーのモデル犬カット	
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	トリミング実習Ⅱ		指導担当者名	平田芳子	
実務経験	各企業にて10年以上トリマーとして従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科2年生	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	168時間		週時間数	6時間	
学習到達目標	<科目主旨> モデル犬のトリミングを通し、トリミング技術の向上と動物と接する際の心構え等を習得を図る。グループ行動を通しコミュニケーション能力の向上を図る。				
評価方法 評価基準	・授業態度 ・出席率 ・犬の取り扱いなど				
使用教材	トリミング道具一式				
授業外学習の方法	トリミング作業の予習復習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	モデル犬実習	ブードル、シーズーのモデル犬カット		
	2	モデル犬実習	ブードル、シーズー、ポメラニアンモデル犬カット		
	3	モデル犬実習	ブードル、ヨークシャテリア、ダックスフントのモデル犬カット		
	4	モデル犬実習	ブードル、チワワ、マルプーのモデル犬カット		
	5	モデル犬実習	ブードル、柴犬、ゴールデンレトリバーのモデル犬カット		
	6	モデル犬実習	ブードル、パピヨン、ヨークシャテリアのモデル犬カット		
	7	モデル犬実習	ブードル、ポメラニアン、チワワのモデル犬カット		
	8	モデル犬実習	ブードル、シュナウザー、ペキニーズのモデル犬カット		
	9	モデル犬実習	ブードル、ビションフリーゼ、ヨークシャテリアのモデル犬カット		
	10	モデル犬実習	ブードル、ビーグル、MIX犬のモデル犬カット		
	11	モデル犬実習	ブードル、イングリッシュセッター、シェットランドシープドッグのモデル犬カット		
	12	モデル犬実習	ブードル、柴犬、ジャックラッセルのモデル犬カット		
	13	モデル犬実習	ブードル、ラフコリー、ポメプーのモデル犬カット		
	14	モデル犬実習 反省	ブードル、ラフコリー、ポメプーのモデル犬カット		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ドッグスタイリストⅡ 実習		指導担当者名	手塚順子	
実務経験	縫製会社社長として20年以上の裁縫、企画立案業務に従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	ペットの飼い主に対しての販売ツールを増やし、デザイン・制作に関する全般を学ぶ				
評価方法 評価基準	授業態度、提出物等、リボン・衣類など制作				
使用教材	ミシン 裁縫道具一式				
授業外学習の方法	ペット用品のトレンドをチェックする				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	自己紹介		
	2	制作実習	裁縫の基礎のおさらい		
	3	制作実習	リボン作成		
	4	制作実習	リボン作成		
	5	制作実習	ネックレス作成		
	6	制作実習	ネックレス作成		
	7	制作実習	制作物計画		
	8	制作実習	素材選び		
	9	制作実習	Tシャツ 作り		
	10	制作実習	型紙作成		
	11	制作実習	縫製 ミシン使用		
	12	制作実習	縫製 仕上げ 手縫い		
	13	制作実習	縫製 仕上げ		
	14	制作実習	成果物発表		
	15				
	16				
履修上の留意点 実際使用出来る物を制作・型紙の制作から最終は洋服の制作が出来るようにする					

授業計画(シラバス)

科目名	ドッグスタイリストⅡ実習		指導担当者名	手塚順子	
実務経験	縫製会社社長として20年以上の裁縫、企画立案業務に従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	ペットの飼い主に対しての販売ツールを増やし、デザイン・制作に関する全般を学ぶ				
評価方法 評価基準	授業態度、提出物等、リボン・衣類など制作				
使用教材	ミシン 裁縫道具一式				
授業外学習 の方法	ペット用品のトレンドをチェックする				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	卒業制作	計画案		
	2	卒業制作	図面計画		
	3	卒業制作	素材選び		
	4	卒業制作	衣裳作り開始		
	5	卒業制作	ミシンでの制作		
	6	卒業制作	ミシンでの制作		
	7	卒業制作	制作過程確認		
	8	卒業制作	縫製 仕上げ 手縫い		
	9	卒業制作	縫製 仕上げ 手縫い		
	10	卒業制作	縫製 仕上げ 手縫い		
	11	卒業制作	縫製 仕上げ 手縫い		
	12	卒業制作	縫製 仕上げ 手縫い		
	13	卒業制作	最終確認		
	14	卒業制作	成果発表		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	トリミングサロン演習		指導担当者名	平田芳子	
実務経験	各企業にて10年以上トリマーとして従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科2年生	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	336時間		週時間数	12時間	
学習到達目標	<科目主旨> モデル犬のトリミングを通し、トリミング技術の向上と動物と接する際の心構え等を習得を図る。グループ行動を通しコミュニケーション能力の向上を図る。 <到達目標> 一通りのトリミング作業を一人で出来るようになる。				
評価方法 評価基準	・授業態度 ・出席率 ・犬の取り扱いなど				
使用教材	トリミング道具一式				
授業外学習の方法	トリミング作業手順を予習復習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	復習 モデル犬実習	作業の流れ、道具の使い方、コミュニケーションを重点指導		
	2	モデル犬実習	ブードル、シーズーのモデル犬カット		
	3	モデル犬実習	ブードル、シーズー、ポメラニアンモデル犬カット		
	4	モデル犬実習	ブードル、ヨークシャテリア、ダックスフントのモデル犬カット		
	5	モデル犬実習	ブードル、チワワ、マルプーのモデル犬カット		
	6	モデル犬実習	ブードル、柴犬、ゴールデンレトリバーのモデル犬カット		
	7	モデル犬実習	ブードル、パピヨン、ヨークシャテリアのモデル犬カット		
	8	モデル犬実習	ブードル、ポメラニアン、チワワのモデル犬カット		
	9	モデル犬実習	ブードル、シュナウザー、ペキニーズのモデル犬カット		
	10	モデル犬実習	ブードル、ビションフリーゼ、ヨークシャテリアのモデル犬カット		
	11	モデル犬実習	ブードル、ビーグル、MIX犬のモデル犬カット		
	12	モデル犬実習	ブードル、イングリッシュセッター、シェットランドシープドッグのモデル犬カット		
	13	モデル犬実習	ブードル、柴犬、ジャックラッセルのモデル犬カット		
	14	モデル犬実習 前期反省	ブードル、ラフコリー、ポメプーのモデル犬カット		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	トリミングサロン演習		指導担当者名	平田芳子	
実務経験	各企業にて10年以上トリマーとして従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科2年生	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	336時間		週時間数	12時間	
学習到達目標	＜科目主旨＞ モデル犬のトリミングを通し、トリミング技術の向上と動物と接する際の心構え等を習得を図る。グループ行動を通しコミュニケーション能力の向上を図る。				
評価方法 評価基準	・授業態度 ・出席率 ・犬の取り扱いなど				
使用教材	トリミング道具一式				
授業外学習の方法	トリミング作業手順を予習復習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	モデル犬実習	ブードル、シーズーのモデル犬カット		
	2	モデル犬実習	ブードル、シーズー、ポメラニアンモデル犬カット		
	3	モデル犬実習	ブードル、ヨークシャテリア、ダックスフントのモデル犬カット		
	4	モデル犬実習	ブードル、チワワ、マルプーのモデル犬カット		
	5	モデル犬実習	ブードル、柴犬、ゴールデンレトリバーのモデル犬カット		
	6	モデル犬実習	ブードル、パピヨン、ヨークシャテリアのモデル犬カット		
	7	モデル犬実習	ブードル、ポメラニアン、チワワのモデル犬カット		
	8	モデル犬実習	ブードル、シュナウザー、ペキニーズのモデル犬カット		
	9	モデル犬実習	ブードル、ビションフリーゼ、ヨークシャテリアのモデル犬カット		
	10	モデル犬実習	ブードル、ビーグル、MIX犬のモデル犬カット		
	11	モデル犬実習	ブードル、イングリッシュセッター、シェットランドシープドッグのモデル犬カット		
	12	モデル犬実習	ブードル、柴犬、ジャックラッセルのモデル犬カット		
	13	モデル犬実習	ブードル、ラフコリー、ポメプーのモデル犬カット		
	14	モデル犬実習 反省	ブードル、ラフコリー、ポメプーのモデル犬カット		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	トレーニング演習Ⅱ		指導担当者名	渡辺亮	
実務経験	訓練士としてしつけ教室、災害救助犬・警察犬の育成などの業務に10年以上従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	336時間		週時間数	12時間	
学習到達目標	<科目主旨> 動物についての基本的なしつけや訓練の知識を総合的に養う <到達目標> 家庭犬トレーニングインストラクターの資格を受ける事が出来る 飼い主さんへの総合的なアドバイスができる				
評価方法 評価基準	実習犬完成度 ・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率 など				
使用教材	日本ペット技能専門学校協会 トレーニング教科書				
授業外学習の方法	トレーニング教科書の予習復習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業の説明		
	2	座って「マテ」	座ってマテ「対面して離れる」 脚測行進中の座って「マテ」		
	3	伏せて「マテ」	脚測行進中の伏せて「マテ」		
	4	立って「マテ」	脚測行進中の視符と練習 脚測行進中の立って「マテ」		
	5	「コイ」	コイを教える 呼ばれてくる リードを使ったトレーニング 「コイ」から脚測定座		
	6	「脚側行進」	リーダーウォーク 脚測行進の視符「アトエ」 犬の引き癖を矯正する		
	7	行進中の「右ターン」	脚測行進中の右ターンの注意点		
	8	行進中の「左ターン」	脚測行進中の左ターンの注意点		
	9	行進中の「Uターン」	脚測行進中のUターンの注意点		
	10	行進中の「速さの変更」	早いペースの脚測行進 遅いペースの脚測行進		
	11	「ヤスメ」	ヤスメ姿勢		
	12	「ホエロ」	「吠えろ」と「静かに」 吠えろのトレーニング		
	13	「モッテコイ」1 「モッテコイ」2	モチベーションの上げ方		
	14	前期の反省と講評	実技試験		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	トレーニング演習Ⅱ		指導担当者名	渡辺亮	
実務経験	訓練士としてしつけ教室、災害救助犬・警察犬の育成などの業務に10年以上従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	336時間		週時間数	12時間	
学習到達目標	<科目主旨> 動物についての基本的なしつけや訓練の知識を総合的に養う <到達目標> 家庭犬トレーニングインストラクターの資格を受ける事が出来る 飼い主さんへの総合的なアドバイスができる				
評価方法 評価基準	模擬対策問題 ・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率・資格取得 など				
使用教材	日本ペット技能専門学校協会 トレーニング教科書				
授業外学習 の方法	トレーニング教科書の予習復習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	「トベ」	障害飛越 掛け声のかけ方		
	2	「センドアウエイ」1	センドアウエイのモチベーター		
	3	「センドアウエイ」2	トレーニングと注意点		
	4	「遠隔操作」	スワレからタツテ フセからスワレ フセからタツテ		
	5	「嗅覚識別」	嗅覚識別と犬の本能		
	6	グットシチズン・ドック計画	ヒール リコール ステイにつて		
	7	KC服従トレーニング試験	KC服従トレーニング試験についての概要と説明		
	8	アジリティ	競技方法 説明		
	9	フライングディスク・ドック	ディスタンス フリースタイル ロングスロー 用語説明		
	10	フライボール	協議説明		
	11	トレーナーとクライアント	助言の方法 クライアントとの面接 デモンストレーション		
	12	総合トレーニング	デモンストレーション見学		
	13	用語確認	復習と確認テスト		
	14	後期の反省と講評	実技試験		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	愛玩飼養管理士1級概論Ⅱ		指導担当者名	宗形 優
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科2年生
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	84時間		週時間数	3時間
学習到達目標	<科目主旨> ・動物についての理論的かつ科学的に理解を深め、専門的知識を高める。 ・社会のニーズに対応できる実践的応用力を身につける。 ・愛玩動物を扱う者として、必要な法律の知識を習得し、広く普及啓発を行えるようにする。			
評価方法 評価基準	・模擬対策問題 ・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率・資格取得 など			
使用教材	愛玩飼養管理士1級 教本上下			
授業外学習 の方法	教科書の予習復習 課題報告問題を解く			
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等	
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	授業説明、使用教材についての理解	
	2	第Ⅰ編 動物愛護論 Ⅱ	第1章 日本における動物愛護運動のおこり	
	3		第2章 第二次世界大戦後の動物愛護運動	
	4		第3章 動物愛護の今後の展望	
	5	第Ⅲ編 動物の行動と社会	第1章 動物と法律	
	6		第2章 飼養動物と関係法令	
	7		第3章 野生動物と関係法令	
	8	動物の行動と社会	第1章 行動とは何か、社会とは何か	
	9		第2章 行動の進化・第3章 行動の自然選択	
	10		第3章 ライフステージと栄養・第4章	
	11		第4章犬と猫のペットフードの進展	
	12	課題報告問題	問題集1～50	
	13		問題集50～100	
	14	期末テスト	期末テスト	
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	愛玩飼養管理士1級概論Ⅱ		指導担当者名	宗形 優	
実務経験				実務経験:	
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科2年生	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	<科目主旨> ・動物についての理論的かつ科学的に理解を深め、専門的知識を高める。 ・社会のニーズに対応できる実践的応用力を身につける。 ・愛玩動物を扱う者として、必要な法律の知識を習得し、広く普及啓発を行えるようにする。				
評価方法 評価基準	・模擬対策問題 ・授業態度 ・出席率 ・課題評価 ・課題提出率・資格取得 など				
使用教材	愛玩飼養管理士1級 教本上下				
授業外学習 の方法	教科書の予習復習 課題報告問題を解く				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	第Ⅴ編 動物の遺伝と繁殖生理	第一章 動物の遺伝		
	2		第二章 動物の繁殖生理		
	3	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第1章動物の疾病とその予防		
	4		第2章犬の疾病とその予防		
	5		第3章猫の疾病とその予防		
	6		第4章その他の哺乳類の疾病とその予防		
	7		第5章鳥類の疾病とその予防		
	8		第6章爬虫類の疾病とその予防		
	9	第Ⅶ編 動物の飼養管理と公衆衛生	第1章人動物の共生に必要な公衆衛生の課題		
	10		第2章人と動物の共通感染症とその対策		
	11		第3章動物愛護行政と地域活動		
	12	第Ⅶ編 自然と人間	第1章 自然環境と世界の働き		
	13		第2章 自然環境と人間のかかわり		
	14	課題報告問題	問題集101～127		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80％に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	販売士概論		指導担当者名	佐藤和	
実務経験	現在の企業で業務会計監督の業務を5年以上従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ベトナム総合科2年生	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	販売士検定3級の取得				
評価方法 評価基準	出席率・授業態度・期末テスト点数				
使用教材	販売士検定3級ワークブック①販売士検定3級ワークブック②販売士検定3級ワークブック③				
授業外学習の方法	販売士検定ワークブックを予習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	販売士検定3級ワークブック①小売業の類型	第一章:流通における小売業の基本的役割		
	2	販売士検定3級ワークブック①小売業の類型	第二章:業界別流通経路の基本的役割 第三章:携帯別小売業の基本的役割		
	3	販売士検定3級ワークブック①小売業の類型	第四章:店舗形態別小売業の基本的役割		
	4	販売士検定3級ワークブック①小売業の類型	第五章:チェーンストアの基本的役割 第六章:商業集積の基本的役割としくみ		
	5	販売士検定3級ワークブック② マーチャンダイジング	第一章:商品の基本知識 第二章:マーチャンダイジングの基本		
	6	販売士検定3級ワークブック② マーチャンダイジング	第三章:商品計画の基本		
	7	販売士検定3級ワークブック② マーチャンダイジング	第四章:販売計画および仕入計画の基本的役割		
	8	販売士検定3級ワークブック② マーチャンダイジング	第五章:在庫管理の基本的役割 第六章:販売管理の基本的役割		
	9	販売士検定3級ワークブック② マーチャンダイジング	復習①小売業の類型②マーチャンダイジング		
	10	過去問題集	過去問題		
	11	過去問題集	過去問題		
	12	過去問題集	過去問題		
	13	過去問題集	過去問題		
	14	前期期末テスト	前期期末テスト(ワークブック①②)		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	販売士概論		指導担当者名	佐藤和	
実務経験	現在の企業で業務会計監督の業務を5年以上従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科2年生	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	販売士検定3級の取得				
評価方法 評価基準	出席率・授業態度・期末テスト点数				
使用教材	販売士検定3級ワークブック①販売士検定3級ワークブック②販売士検定3級ワークブック③				
授業外学習 の方法	販売士検定ワークブックを予習復習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	販売士検定3級ワークブック② マーチャンダイジング	第七章: 価格設定の基本的な考え 第八章: 利益追求の基本知識		
	2	販売士検定3級ワークブック② ストアオペレーション	第一章: ストアオペレーションの基本的役割		
	3	販売士検定3級ワークブック② ストアオペレーション	第二章: ディスプレイの基本的役割		
	4	販売士検定3級ワークブック② ストアオペレーション	第三章: 作業割当の基本的役割 第四章: 人的販売の基本的役割		
	5	販売士検定3級ワークブック③ マーケティング	第一章: 小売業のマーケティングの基本的考え方		
	6	販売士検定3級ワークブック③ マーケティング	第二章: 顧客管理の基本的役割 第三章: 販売促進の基本的役割		
	7	販売士検定3級ワークブック③ マーケティング	第四章: 商圏の設定と出店の基本的考え方 第五章: 売り場作りの基本的考え方		
	8	販売士検定3級ワークブック③ 販売・経営管理	第一章: 販売員の基本業務 第二章: 販売員の法令知識		
	9	販売士検定3級ワークブック③ 販売・経営管理	第三章: 販売事務と計数管理の基本的知識 第四章: 売り場の人間関係		
	10	販売士検定3級ワークブック③ 販売・経営管理	第五章: 店舗管理の基本的役割		
	11	過去問題集	過去問題		
	12	過去問題集	過去問題		
	13	過去問題集	過去問題		
	14	後期期末テスト	後期期末テスト(ワークブック②、③)		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	MOS対策授業		指導担当者名	菅井 雄作	
実務経験	office使用業務に10年間以上従事			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ペット総合科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	エクセルやワード、パワーポイントを習得し自ら作成、編集ができるようにする。				
評価方法 評価基準	授業態度および期末テストにて評価				
使用教材	PC Microsoft Office Specialist Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集				
授業外学習 の方法	PCでの予習復習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	カレトモのメールアドレス配布		
	2	Officeダウンロード			
	3	Excelの使い方	画面の説明とショートカットキー		
	4	Excelの使い方	SUM関数		
	5	Excelの使い方	counta関数		
	6	Excelの使い方	if関数		
	7	Excelの使い方	置換とセルの書式設定		
	8	Excelの使い方	パーセンテージ		
	9	Excelの使い方	見栄え		
	10	Wordの使い方	縦横		
	11	Wordの使い方	見栄え		
	12	Wordの使い方	文章を書いてみる		
	13	Wordの使い方	文章を書いてみる2		
	14	後期期末	テスト		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	MOS対策授業		指導担当者名	菅井 雄作
実務経験	office使用業務に10年間以上従事			実務経験：有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	ベトナム総合科2年
授業方法	講義：	演習：	実習：○	実技：
時間数	84時間		週時間数	3時間
学習到達目標	エクセルやワード、パワーポイントを習得し自ら作成、編集ができるようにする。			
評価方法 評価基準	授業態度および期末テストにて評価			
使用教材	PC Microsoft Office Specialist Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集			
授業外学習の方法	PCでの予習復習			
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	オリエンテーション	前期の振り返り	
	2	wordの使い方	表を入れる	
	3	wordの使い方	ワードアート	
	4	wordの使い方	画像の挿入	
	5	wordの使い方	お礼文を書いてみる	
	6	PowerPointの使い方	チラシをつくってみる	
	7	PowerPointの使い方	プレゼン用のシートを作ってみる	
	8	PowerPointの使い方	プレゼン用のシートを作ってみる2	
	9	PowerPointの使い方	プレゼン用のシートを使って発表してみる	
	10	PowerPointの使い方	プレゼン用のシートを使って発表してみる2	
	11	PowerPointの使い方	プレゼン用のシートを使って発表してみる3	
	12	PowerPointの使い方	期末テスト用シート	
	13	PowerPointの使い方	期末テスト用シート	
	14	後期期末試験		
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	国際デザイン研究		指導担当者名	山田直美	
実務経験				実務経験:	
開講時期	後期		対象学科学年	ペット総合科2年生	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	48時間		週時間数	7日間/48時間	
学習到達目標	・海外文化に触れ日本の文化と共にそれを尊重できる事、また、海外文化を楽しむ事が出来る事 ・学校で学んだ知識と技術を海外イベントに参加発信とアピールが出来る事 ・海外での業界事情を視察研修し、日本国内と比較してレポートにまとめる事 ・集団行動の徹底が出来る、また多くの国の人々が集まる場所で節度ある行動が出来る様になる事				
評価方法 評価基準	・準備の徹底 ・集団行動の場面での時間管理が出来たか ・研修先で積極的に自ら行動が出来たか ・国際デザイン研究のまとめレポート提出と内容				
使用教材	PC、筆記用具、カメラ、その他				
授業外学習の方法	事前準備(パスポート取得や旅行用品準備など)の徹底と、事後のレポート制作の為のまとめ				
学期	ターム (日)	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	出発~入国	成田空港利用、国際線でのマナー徹底		
			国外への出入国手続き、海外入国後ホテル宿泊		
	2	海外滞在1日目:イベント準備など	海外イベント参加に向けた出展準備		
			その後、自由行動と集団での国内研修		
	3	滞在2~4日目:A,B,C班に分かれて行動	A: イベント出展当番~国内集団研修~自由行動		
	4	*A~C班に分かれ	B: 国内集団研修~自由行動~イベント出展当番		
	5	3つの旅程をローテーションする	C: 自由行動~イベント出展当番~国内集団研修		
	6	滞在5日目(最終日)	全員でイベント出展の後片付け、その後集団での国内研修		
	7	帰国~到着	現地空港から成田に到着後、学校へ戻りその後解散		
			成田空港利用、国際線でのマナー徹底、日本帰国手続き		
	履修上の留意点				
・国際デザイン研究に何らかの理由で不参加の場合には認定試験を受験することとする。 ・また、国際デザイン研究行程期間も学校へ登校し、それぞれ決められた課題の作成と提出を義務づける。 ・参加者については国際デザイン研究終了後、決められた期間までにレポートを提出する事					

授業計画(シラバス)

科目名	卒業制作		指導担当者名	宗形 優
実務経験				実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	ペット総合科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	180時間	週時間数	6週/180時間	
学習到達目標	・卒業生:2, 3年間の集大成として学んだことを発揮する			
評価方法 評価基準	・修了生:それぞれの学科の規定により定められた以上の分量、質で卒業生としての集大成となる作品制作をすること また、学科内で行われるプレゼンテーションにて完成品を発表し、卒業修了制作展で作品展示をすること 評価項目「作品の量」「作品の質」「完成度の高さ」「企画の質」「プレゼン能力」			
使用教材	それぞれの学科制作毎の規定に沿った画材、教材を使用する事			
授業外学習の方法	制作にあたり、事前の企画・計画をそれぞれ複数の先生方と行い、チェックをもらう事			
学期	ターム (週)	項 目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	作品制作開始	事前に準備していた企画・計画に沿ってそれぞれ制作にあたる	
	2	作品制作2	個別添削を行いながら制作を進めていく	
	3	作品制作3	中間発表を行い、プレゼンテーション準備と展示企画についても	
			可視化していく	
	4	学科内プレゼンテーション	学科内でプレゼンテーションを実施	
			学科担任、学科非常勤講師、学科内学生全てでプレゼンテーションを聞く	
			・制作のポイント ・展示計画 ・プレゼン能力 ・資料の見やすさ など	
	5	発表を受けての修正と展示準備	各教室での展示計画と準備、	
			また、プレゼンテーションで受けた指摘の修正と追加制作	
	6	卒業・修了制作展	展示計画の基づき展示をし、外部の一般来場者を入れての作品発表を実施	
			・学科内の作品の見どころの紹介 ・一般来場者の対応	
			*学科内シフトにより登校	
			展示終了後は撤収と作品保管をする	
履修上の留意点				
・出席率が80%に満たない場合は、プレゼンテーション機会を与えない				
・プレゼンテーションにて不合格だった場合、修正し、翌週期限を設け再プレゼンテーションを実施 そこで一定の評価があれば合格とする				
・再プレゼンテーションで不合格の場合認定となる				